

MEIJI  
GAKUIN  
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2018年6月4日

悩めるソーシャルワーカーたちの30年間にわたるグループスーパービジョンの実践

## 『ソーシャルワーカーの成長を支える グループスーパービジョン』

### — 苦しみやつまずきを乗り越えるために』刊行

1965年、本学に社会学部社会福祉学科が誕生して以来、多くのソーシャルワーカーが巣立ちました。2008年度からは学科にソーシャルワークコースを設け、さらに福祉の現場で活躍する人の育成に力を入れています。

30年前、病院のソーシャルワーカーであった1人の卒業生が悩みを抱えて、山崎美貴子社会学部社会福祉学科教授(当時。現・名誉教授)のもとを訪れた経験から、山崎教授は専門職として責任を果たす卒業生を支えるために、卒後教育も踏まえて、研究会「山崎美貴子ゼミソーシャルワーク勉強会」を立ち上げました。この30年間の実践を、この度、『ソーシャルワーカーの成長を支えるグループスーパービジョン— 苦しみやつまずきを乗り越えるために』(中央法規出版)として出版しました。

ソーシャルワーカーは組織の中で1人か数人である職場も多く、かつ、仕事の領域は広く、孤立無援に陥ることが多い仕事です。また近年では、地域で人々を支える「地域包括ケア」が主流となり、病院と地域、施設と地域などさまざまな領域で連携し、「切れ目のない支援」のシステム作りが求められるため、ソーシャルワーカーには、個人の支援とともに、多くの人や機関と協働して地域づくりを担う役割が期待され、さらにそうした支援を創出する苦悩が生まれています。

本書では経験が浅いワーカーからもたらされた事例についての、グループスーパービジョンでのやりとりが再現されています。スーパーバイザーである山崎教授がコメントを寄せ、事例を提出した当事者が、参加した仲間達と学びの場を構成しながら進められる創造的実践の振り返りを綴ります。本書発行にあたり、「当時を振り返ってみれば」という、さらなる総括も掲載しています。また、巻末には、仲間を持つことが難しいワーカーのために、セルフスーパービジョンについても紹介されています。

山崎教授は、本書は事例集や解説書ではなく、ソーシャルワーカーとして苦難を乗り越え、奮闘してきた卒業生たちが互いを支え、成長してきた記録であると話します。組織や制度、時には自分の価値観とも戦い、悩み苦しみながらソーシャルワークを実践し続けてきた、さまざまな場所で働くワーカーが仲間と共に成長する姿は、現在、職務に邁進するソーシャルワーカーの方々へのエールであり、本書には「苦しみを仲間の助けで乗り越え、成長することもできる」というメッセージが込められています。

本書をぜひご紹介もしくはご取材いただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

山崎美貴子名誉教授 (元・本学副学長、元・神奈川県立保健福祉大学学長、  
現・一般社団法人全国保育士養成協議会会長、現・東京ボランティア・市民活動センター所長)

●書籍の詳細については、2枚目をご覧ください。

取材のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当: 圓道・濱口

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <https://www.meijigakuin.ac.jp>

# ソーシャルワーカーの成長を支える グループスーパービジョン

苦しみやつまずきを乗り越えるために

山崎美貴子(明治学院大学名誉教授)監修  
明治学院大学山崎美貴子ゼミソーシャルワーク勉強会 著

発行：中央法規出版

A5判：174頁

ISBN：978-4-8058-5699-4

定価（本体2,200円＋税）



## 目次

はじめに ～この本を手にとった皆さまへ

### 第1章 本書の活用の仕方

- 1 本書の目的
- 2 グループスーパービジョンを始めたきっかけ
- 3 本書の構成と活用方法

### 第2章 苦しみやつまずきを乗り越えるグループスーパービジョンの実際

- 1 スタッフがかかわりに疲れてしまった難病患者とその家族への支援  
～私は何もできないという無力感の中で
- 2 ターミナル期のがん患者へのかかわり ～ソーシャルワーカーとしての私と個人としての私
- 3 「了解のよくない」家族への支援 ～寄り添うことが難しいクライアント
- 4 重症心身障害児の養育問題をかかえる母親への援助 ～怒りや攻撃的な感情表出の理解
- 5 入院中に離婚となり、一人暮らしを余儀なくされたうつ病患者への支援  
～寄り添いに時間がかかるクライアント
- 6 HIV/AIDS 患者へのかかわり サポートチーム作りを通して  
～社会的偏見を抱えた患者さんを支援するために
- 7 乳児院家庭支援専門相談員としてのかかわり ～ソーシャルワーカーの専門性の確認
- 8 介入を望まない高齢者へのアプローチ ～いかに心の扉をひらいていくのか
- 9 チームアプローチを進めていくために ～私は何をすればよいのか
- 10 矛盾を経験した私 ～5 事例を振り返って伝えられること
- 11 デイサービスセンターにおけるソーシャルワーカーの実践記録 ～年表を作ってみて
- 12 地域における医療ソーシャルワーカーの活動 ～X 区医療福祉相談会の成り立ちと今後の課題について

### 第3章 やってみよう！ グループスーパービジョン

- 1 仲間を探し、関係と場を作る
- 2 グループスーパービジョンにつなげる事例検討会
- 3 セルフスーパービジョン

取材のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当：圓道・濱口

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <https://www.meijigakuin.ac.jp>